

---

## 市販のタブレットで広告効果が明確に把握できる 次世代サイネージソリューション「ABook Signage」誕生

---

2014年11月11日

株式会社エージェンテック

スマートフォン・タブレット端末を企業で活用するためのプラットフォーム「ABook」を提供している株式会社エージェンテック（以下、エージェンテック）はタブレットを利用した次世代サイネージソリューション「ABook Signage」の販売を開始しました。

「ABook Signage」は市販のタブレットを利用、カタログや店頭告知などのデジタル情報を配信し、利用者が必要に応じて画面をタップすると、より詳しい情報を検索・閲覧する KIOSK 端末としても利用可能です。更に利用者は必要な情報を持ち帰ることができ、知り合いなどに共有することもできます。

タブレットでの利用状況や持ち帰った情報の利用状況などのビックデータを集計することで広告効果が明確に把握でき、かつ情報提供者と利用者の接点をつくることで、より効果的なお知らせ、告知が可能になる次世代サイネージソリューションです。

利用シーンの一例としてはポップやポスターなど店頭告知のデジタル情報配信が可能です。

ポップやポスターなど店頭告知のデジタル化は、動画や音楽も発信でき、情報量と可能性は従来の紙媒体では考えられないほどです。しかし、高価で難解な「専用機器（STB）」や「専用システム」が障壁となり、販促ツールとしてはなかなか浸透していませんでした。そんな常識を一新、「ABook Signage」は、お手持ちのタブレットで、手軽に店頭ポップのデジタル化を可能にしました。更に「ABook Signage」では、お客様がタップ操作ひとつで必要な情報を得ることが出来ます。

まさに店頭で商品を前に、ニーズに応じた詳しい商品説明が出来る販売員のような販促ツールなのです。

個人毎の要求に応じて、カテゴリ別により深い情報が要求される昨今、スーパーマーケットではワインの産地、アレルギー表記、観光案内所では英語、中国語など言語別の案内、書店での作家別情報など、カテゴリ別すべての情報を紙媒体で店頭告知することは大変です。しかしそれらがデジタル化されればお客様は本当に欲しい情報を簡単に取得し、更に持ち帰ることが可能となります。

## ○利用者のメリット

1. 画面をタップするだけで、ニーズに合わせた情報を“店頭”にて、より深く理解できる。
2. 専用アプリ「Getits（ゲッツ）」（\*）を使い、お客様がスマホやタブレット端末に情報を取り込み持ち帰ることが出来る。

## ○情報提供者のメリット

1. 利用者が持ち帰った情報をSNSなどに書き込めば、口コミ拡散の可能性が生まれる。
2. 情報端末での利用状況、持ち帰った情報の利用状況などのビックデータを集計することで広告効果が明確に把握できる
3. 利用者と接点をつくることができるので効果的な集客ツールとしても活用できる

### 活用事例 百貨店・スーパーマーケットでの活用

店頭で商品情報が流れます。  
興味を持ったお客様が、  
タブレット画面をタッチ  
自由に商品情報を閲覧する  
ことが出来ます。

商品情報やクーポンなど、  
欲しい情報があれば  
スマホやタブレット端末に  
持ち帰ることが出来ます。

企業側は  
マーケティング情報を  
得ることが出来ます。

詳しくは、「ABook Signage」のホームページをご参照ください。

[http://www.agentec.jp/product/abook\\_signage/](http://www.agentec.jp/product/abook_signage/)



【株式会社エージェンティックについて】

代表取締役：金涼採

設立：2004年1月29日

主な事業内容：ABookの販売・環境構築、スマートフォン・タブレット等のアプリ開発 動画・LIVE配信パッケージの販売・構築など

所在地：東京都千代田区九段南3-2-7 いちご九段三丁目ビル3F

お問い合わせ：Tel: 03-3239-3681、Fax: 03-3239-3682、Email: [sales@agentec.jp](mailto:sales@agentec.jp)

\* 「Getits（ゲッツ）」は、さまざまな情報を閲覧するための専用ビューワーです。（各storeから無償でダウンロード頂けます。）

